

スター保険 モーリス・R・グリーンバーグ氏

協調に向け、米中の対話求める

米中のトップに公開書簡送付

C. V. スター、スターインシュランスカンパニーズ(スター保険の親会社)、およびスター財団の会長兼最高経営責任者を務めるモーリス・R・グリーンバーグ氏は、4月5日、米国のジョー・バイデン大統領と中

国の習近平国家主席に対して、両国の関係の安定のための対話を求める公開書簡を送付した。公開書簡の中でグリーンバーグ氏は、「米

国と中国は世界の歴史にとって、現在極めて重要な局面を迎えている」と語り、地球温暖化や、両国の相違に対する理解と対応を促すことを目的に、より真

摯な対話が行われることを求めている。また、両国が世界の平和と安定を維持するという大きな責任を共有していることにも触れ、両国が協力すれば、平和の維持だけでなく、貧困の緩和や、世界の飢餓問題、気候変動、人間の健康に至

るまで、人類が直面している課題に関して改善策を提示できるとの考えを示し、両国間の

関係改善を訴えている。さらに、両国には長い協力の歴史と共通理解があることを強調し、「最近の二国間関係の憂慮す

べき悪化は、その豊かな共有の歴史を危険にさらしている。相互尊重に基づく建設的な対

話を再確立することは両国の国益にかなうものだ」との見解を示した。

公開書簡の差出人にはグリーンバーグ氏を筆頭に、元駐中国米国大使や、元米国防長官、ニューヨーク大司教など22人の米国政財界の重鎮の署名が並んでいる。

賞を受賞。2018年には、習近平氏より中国経済と保険産業への貢献を称えるメダルを授与されるなど、中国でもその功績は高く評価されている。



グリーンバーグ氏

二国間関係の悪化に危機感

の保険会社「American Underwriters」を設立したことを起源とする会社であり、同氏の後継者にあたるグリーンバーグ氏は、鄧小平氏や江沢民氏、温家宝氏ら中国の歴代の要人との交流を深めてきた。

そうした活動の結果、グリーンバーグ氏は1999年には当時上海市長であった朱鎔基氏により、上海市市長国際企業家諮問委員会会長に任命され、97年には「上海名誉市民

賞」を受賞。2018年には、習近平氏より中国経済と保険産業への貢献を称えるメダルを授与されるなど、中国でもその功績は高く評価されている。

日本法人のスター保険の中澤良平CEOは今回の公開書簡について、「米国外交問題評議会の名誉理事や、米中関係全国委員会の副理事を務め、長年にわたり中国との信頼関係構築に尽力し、バイデン大統領と習近平国家主席の両トップと直接対話ができるグリーン

バーグ氏ならではのダイレクトなメッセージだと思う」との考えを示した。

【モーリス・R・グリーンバーグ氏のプロフィール】モーリス・R・グリーンバーグ氏は、C. V. スター、スターインシュランスカンパニーズ(スター保険の親会社)、およびスター財団の会長兼最高経営責任者。1967年にアメリカン・インターナショナル・グループ(AIG)をスターの子会社として設立し最高経営責任者

を務め2005年3月に退任しスターインシュランスカンパニーズに専念。ニューヨーク連邦準備銀行の理事長および委員を務めた経歴も持つ。現在はニューヨーク・プレスビテリアン病院の役員兼名誉会長の他、コーネル大学のワイル・メディカル・スクールの監督理事会の委員や、国際救済委員会の監督理事の理事等や市民団体のメンバーとしても活動している。1925年5月4日生まれ(98歳)。